

脛骨顆外反骨切り術(TCVO) 治療計画表

患者名 \_\_\_\_\_ 殿

医師  
看護師  
薬剤師

管理栄養士  
理学療法士

バス開始日 / \_\_\_\_\_

日付	入院日(手術前日)	手術当日(術前)	手術当日(術後)	術後1日目	術後2日目	術後3日目	術後4~7日目	術後8~14日目	15日目~退院日
達成目標	手術の必要性が理解でき、不安や疑問点を聞くことができる		術後、嘔気や呼吸苦があれば知らせることができる しびれや創部の出血など異常があれば知らせることができる		行動の注意点が理解できる リハビリを積極的に受けることができる		しびれや創部からの出血など異常があれば知らせることができる 車椅子に乗ることができる リハビリを積極的に受けることができる		
点滴			点滴をします						
処置			酸素吸入をします 創部に管が入ります	朝酸素を中止します	創部の管を術後2~3日で抜きます	創部処置は適宜行います			
			医師の指示があるまで、血流を良くする機械を足に装着します			患部を冷やします(7日まで)			
内服	内服薬を確認します	内服は休薬します (麻酔科医師の指示で内服する場合があります)		内服を再開します					
検査			血液検査があります 術後レントゲンを撮ります	血液検査があります		血液検査があります	術後5日目に血液検査があります 採血結果に応じて超音波検査を行います	術後14日目に血液検査・レントゲンがあります	
検温	1回行います	術前に行います	必要に応じて伺います	4回行います	3回行います	2回行います	適宜行います		
安静	自由です		ベッド上安静です	痛みに応じて自由に動けますが、手術した足に体重をかけることができません					
清潔	シャワーで患部を綺麗にします 爪切をします	口腔内を綺麗にします 男性は髭剃りをします		体を拭きます(週2回) 髪を洗います(週1回) 尿の管を抜くまで陰部を洗います	主治医の許可があればシャワー浴ができます				
排泄	必要に応じて排便の処置をします		尿の管が入っています 尿の管が抜けたらトイレで排泄できます		トイレで排泄できます				
食事	食事ができます	絶飲食です	絶食です 主治医の許可があれば 飲水できます	朝より食事再開です					
リハビリ	機能・能力評価を行います 自主トレーニングの指導をします	リハビリはお休みです		リハビリをします					
その他	麻酔科医の診察があります 手術の説明があります 手術室の看護師より説明があります 入院生活の説明があります 退院について相談します		手術の説明があります	必要に応じて転院調整を行います				装具の採型があります 片側の場合:2週目 両側の場合:3週目 費用については看護師にお尋ください	